

福祉サービス第三者評価結果の公表事項

評価機関（評価機関認証No.）	社会福祉法人 福井県社会福祉協議会（福井福祉評価認証第1号）
評価調査者研修番号	第6-14号、第6-15号、第10-19号

【基本情報】

①施設・事業所情報

名称：足羽利生苑	種別：介護老人福祉施設
代表者氏名：高村昌裕	定員（利用人数）： 59名
所在地： 福井県福井市榎野町20-7	
TEL： 0776-41-3121	ホームページ：http://www.asuwafukushikai.jp/risyoen
〔施設・事業所の概要〕	
開設年月日 平成3年4月8日	
経営法人・設置主体（法人名等）： 社会福祉法人 足羽福祉会	
職員数	常勤職員： 39名 非常勤職員 13名
専門職員	（専門職の名称） 名 作業療法士 1名
	介護福祉士 26名 管理栄養士 2名
	看護師 6名 柔道整復師 1名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	・多床室（4人部屋）17室 ・個室6室 食堂 洗面所（6） 便所（5） 医務室 多目的ホール 機能訓練室 一般浴室 機会浴室

②理念・基本方針

<p>理念：「共に生き、共に集う、光を求めて」 職員行動指針：私たちは、人として、福祉専門家として「共に生きる人」を目指し、利用者様と共に、地域と共に、職員と共に歩みます。 基本方針：1.利用者様と共に2.地域と共に3.職員と共に4.実施プロセスの明確化5.財務基盤の安定</p>
--

③施設・事業所の特徴的な取組

<p>1.介護力向上委員会の自立支援の取り組み 2.尊厳ある認知症介護の実践。1,2に対し、個別ケアに取り組み、外部オブザーバーを招いた事例検討会を実施している。3.あすわersによる人事評価制度をはじめ、法人の新任研修、階層別研修やキャリア段位制度、プリセプター制度により、階級に合わせた人材育成を行なっている。、4.地域貢献として、デイサービスや駐車場を開放し、サロンやよさこい練習の場として利用してもらっている。公民館での出前講座などにも力を入れ、地域住民との交流向上を図っている。（コロナ感染状況を見て） 5.業務プロセス改善委員会では、事業計画に対するPDCAを回すための独自の起案兼会議録を作成し、取り組み状況を見える化している。また、5S活動による業務改善やグッドネス報告にて、働きやすい職場・職員間の良好な関係構築を目指している。6.接遇・虐待防止・感染対策とうで自己チェックし、サービスの向上に努めている。</p>
--

④第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和3年9月9日（契約日） ～ 令和4年4月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	5回（平成30年度）

⑤総評

<p>【特に評価の高い点】</p> <p>【I-3 事業計画の策定】 長期事業計画「長期ビジョンASUWA2030」に沿って3年ごとの中期計画（2020～2022）第Ⅳ期中期事業計画が策定されている。具体的行動計画は「利用者とともに」「地域と共に」「職員と共に」「実践プロセス・財務基盤安定」に分類され、今年実践の年となっていて、来年検討分析の予定である。なお、その分析結果を受けて第Ⅴ期中期計画を策定する予定となっている。単年度計画は中期計画に基づき作成され実践されている。</p> <p>【Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス】 利用者を尊重した福祉サービスの提供は、事業計画に明示し、職員へ説明し配布している。また、職員の行動規範を規定し、研修会で周知を図っている。基本姿勢は、業務マニュアルに反映されている。利用者のプライバシー保護や虐待防止等の権利擁護は、それぞれマニュアルが整備され、研修会等を実施し、職員への周知が図られている。利用者のプライバシー保護について設備等にも配慮し、家族会等で取組を説明している。不適切な事例が発生した場合には虐待防止委員会等で対応している。</p> <p>【A-3 生活支援】 終末期を迎えた場合は、家族の了解と医師の看取り指示書に基づいて、看取り計画書を作成している。看取り後のカンファレンスや偲ぶ会を行うなど、終末期精神ケアが実施されている。</p>
--

【改善を求められる点】

【Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ】

有事の際の管理者不在時の権限委任について職務権限規程に記載されていないため、対応を早急に検討されたい。

【Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス】

家族用の満足度アンケートは行われているが、利用者に対しては行われず、利用者への個別の相談面接や聴取もなされていない。利用者満足度調査や個別の聞き取りを行い、把握した結果を分析検討する利用者参画による検討会を実施するよう期待したい。

⑥第三者評価結果に対する事業所のコメント

4回目の第三者評価を受審し、高く評価していただいた点が多く、日ごろの取り組みの成果を感じます。一方で、前回評価時に改善が必要な点について、取り組んできたつもりでしたが、利用者様への説明や声を拾うという点でまだまどうことがわかりました。まずは利用者会を立ち上げたいと思います。自己評価を毎年行ない、事業計画で目標を立てることで、より利用者様の生活の質を高めていけたらと思います。評価機関をはじめ、関係者の皆様には、感謝申し上げます。ありがとうございました。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。